

助成事業報告 スポーツ教室・スポーツ大会等開催（スポーツ） 第27回 ノーマライゼーション水泳フェスティバル & ユニバーサルスポーツチャレンジ

【目 的】

誰にでも楽しめるプログラムを提供することにより障害のある人もない人も共に水に親しみ、楽しみを共有することでノーマライゼーションを図る
また、ユニバーサルスポーツチャレンジ体験会を行ない、障害の程度に関係なく参加できる場の提供をする

【実施日】 令和6年10月27日（日曜日）

【募集人数】 プール 200名・アリーナ希望者

【参加人数】 798名（競技・ゲーム・AS・

指導協力者・パフォーマンス・ユニバーサル
スポーツ・応援者・トゥリトネス・来賓）

【従事者数】 142名（実行委員・ボランティア）

【会 議】 5回 各部門会議は随時

【反省会議】 1回

【計 画】

副理事長が主体となり、会員及び一般から募集して実行委員会を組織化し運営に携わる

【決 算】

toto 助成金、練馬区社会福祉協議会協賛金、
参加料、水連負担金で決算

(収入) 合計	2,068,855 円
(内訳) toto 助成金	1,194,000 円
参加料	79,000 円
(500 円 × 158 名)	
協賛金	100,000 円
水連負担金	695,855 円
(支出) 合計	2,068,855 円
(内訳) 諸謝金	805,500 円
消耗品	169,072 円
スポーツ用具	507,645 円
印刷製本費	470,000 円
通信運搬費	2,338 円
雑役務費	14,300 円
その他 DVD 制作費	100,000 円

【成 果】

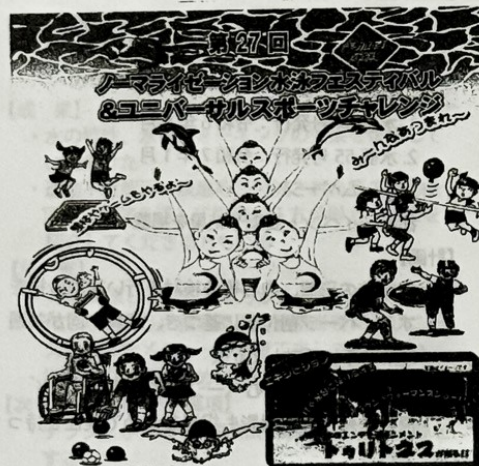
・ボランティアの協力を得て安全に配慮した結果、
事故もなく大会を終えることが出来た

【反 省】

・障害者専用コースに従事しているスタッフの
協力を得て、参加者への呼びかけとボラン
ティアの協力を得られるようにしていきたい

【次年度への引き継ぎ事項】

・実行委員とボランティアの役割を早期に決め、
滞りなく運営できるようにしていきたい
・新規参加者を増やせるように声掛けを行なって
いきたい



開催日：令和6年10月27日（日）

開場：10:00～

開催所：東京都練馬区立

大泉学園町体育館

〒178-0061 練馬区大泉学園町5-14-24

誰にでも楽しめる水のプログラムを提供することにより、障害のある人も、ない人も共に
水に親しみ、楽しみを共有することでノーマライゼーションを図る。併せてアリーナにお
いてユニバーサルスポーツにチャレンジし、その楽しさを味わうことを目的とします。



主催：NPO法人 練馬区水泳連盟
内 練馬区、NPO法人 コミュニティ・スポーツ・フォーラム
協賛：社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会
協力：オフィス トリトネス、
日本障害者パラアスリート・スポーツ協会、
障害者スポーツ推進委員会、/ 障害者スポーツ推進委員会 / 障害者スポーツ推進委員会

toto 助成事業報告 スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ） 対象別ウォーターエクササイズ地域指導者養成講座

【ねらい】

指導者の養成と、その充実を図り区民の生涯
スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水
の事故防止に寄与するため、指導者としての資
質・技能の向上と多くの指導者の輩出を図る

【実施日】 地域指導者養成講座

第Ⅰ弾：水泳指導者養成編

R7 年 1/20 2/8 2/20 3/5 3/16 3/17 3/20

第Ⅱ弾：初級パラスポーツ指導員養成編

R7 年 2/2 2/3 2/8 2/9

【募集人数】 地域指導者養成講座 各期 20 名

【参加人数】 29 名（第Ⅰ弾 9 名、第Ⅱ弾 20 名）

【従事者数】 各講座講師他水連指導員 20 名

【会 議】 8 回

【反省会議】 10 回

【決 算】 toto 助成金、参加料、水連負担金で決算

(収入) 合計	1,005,822 円
(内訳) toto 助成金	717,000 円
参加料	45,000 円
水連負担金	243,822 円
(支出) 合計	1,005,822 円
(内訳) 諸謝金	598,000 円
借料及び損料	85,800 円
消耗品	74,213 円
スポーツ用具費	150,000 円
通信運搬費	4,180 円
雑役務費	75,870 円
その他 DVD 制作	17,759 円

【計 画】 理事有志が運営に携わる

【成 果】

①水泳指導者養成編

・対象者の泳ぎを観察して的確に伝えることの
難しさ、プログラムの組み立ての大切さを
痛感した
・心肺蘇生法の手順をペットボトルを利用して
学んだ。いざという時に出来るのか？不安だ
が自宅でも練習する方法を学べて良かった
との感想をいただきました

②初級パラスポーツ指導員養成講習会

・パラスポーツの基本的な知識や指導方法に
ついて学ぶことが出来ました。中でも障害の
種類による競技のルールの違いや指導の際に
配慮すべきポイントについて具体的な事例を
交えて学べたことは大変有意義でしたとの
お声を多数いただきました
・他の初級パラ講習会ではプール実技はあまり
やっていないと聞いていましたが、入退水の
仕方や介助の方法など水中という特性に応じ
た方法を体験でき、良い経験が出来ました
とのお声をいただきました

【反 省】

・現指導員にも声掛けを行ない、聴講生として
受講できることを周知していきたい

【次年度への引き継ぎ事項】

・従事者の役割分担を早期に決め、滞りなく運
営できるようにしていきたい

